

2026年度 大学生・大学院生向け国際協力理解講座
 プログラムNo.1 国際協力実務講座 プログラム概要

※諸般の事情により、講師やプログラム内容・時間・順序等が変更になることがあります。

1. 基本情報

| | |
|--------------|--|
| 1) プログラム名 : | 大学生・大学院生向け国際協力実務講座 |
| 2) 担当者名 : | 八星 真里子 |
| 3) 期間 (日数) : | 2026年8月24日 (月) ~8月28日 (金) 5日間 |
| 4) 参加者数 : | 35名 (予定) |
| 5) 言語 : | 日本語 |
| 6) 主な対象学生 : | 国際協力について関心があり、将来、開発途上国の援助に従事したいと希望する大学生・大学院生 専門分野は特に問わない。 |

2. コンテンツ

| | |
|-----------|---|
| 本プログラムの目的 | <p>【受講時の目的】 受講者が国際協力人材に必要な資質・能力の基礎を習得すること。そのために、国際協力実務経験者からの講義、国際協力や社会課題解決に深く関連したワークショップ等を通じて、以下の学びを習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際協力の潮流、各事業の特徴や主要アクターの役割や関わり方を理解する。 ・情報を収集し、多角的かつ論理的に課題を分析する際に必要な基本的な考え方を理解する。 ・多様な関係者と協力し、期間内に目標を達成するためのプロジェクトレベルのマネジメントの基礎を理解する。 ・異なる背景を持つ相手との対話や、チーム内での合意形成に必要なコミュニケーションのスキルを向上させる。 ・多様なキャリアパスを知り、自身の適性や専門性をどう活かせるか、ビジョンを描くことができるようになる。 <p>【受講後の期待】 受講者が、将来的に国際協力の担い手やグローバル人材として、持続可能な社会の構築に貢献すること。</p> |
|-----------|---|

3. 日程表

1日目 : 2026年8月24日 (月)

対面開催 (オンライン出席可)

| 場所 | 時間 | テーマ | 講師等 | ねらい |
|-------------|-------------|--|---------------------------------------|---|
| JICA筑波 | 10:00-10:50 | 主催者挨拶 オリエンテーション | JICA筑波 ジエールエム・インスティ チュート (GLMi) | <ul style="list-style-type: none"> ●プログラムの目的・流れを理解する ●参加者の緊張を和らげる ●参加者が互いの背景や関心を把握する |
| | 10:50-11:00 | 休憩 | | |
| | 11:00-11:50 | 日本の国際協力を通じた世界の課題解決への貢 献 ~ODAの「基本のき」を学ぶ~ | JICA筑波 | <ul style="list-style-type: none"> ●国際社会で取り組むべき課題は幅広く、複雑化して いることを理解する ●日本の国際協力の目的、方針等を理解する。 ●主要なODA事業の特徴を理解する。 |
| | 11:50-12:00 | 休憩 | | |
| | 12:00-13:00 | 日本の国際協力を通じた世界の課題解決への貢 献 ~特定の地域の事例から解決の方策を考え る~ | JICA地域部 | <ul style="list-style-type: none"> ●特定の地域を事例に、ODAの戦略や主要なODA事業で の課題解決の事例を知る ●主要なODA事業の案件の形成から開始まで、プロ ジェクトの基本的な流れや実施体制を理解する |
| | 13:00-14:00 | 昼休憩 | | |
| | 14:00-14:50 | JICA現地事務所の仕事 | JICA現地事務所 | 現地でJICA事業の計画・立案や調整を担う職員がどの ような仕事をしているのかを知る |
| | 14:50-15:00 | 休憩 | | |
| | 15:00-15:50 | 多様な国際協力アクター | JICA筑波 または人事部 | <ul style="list-style-type: none"> ●NGO等の市民社会や民間企業も国際協力に取り組む 重要なアクターであることを理解する ●JICAがあらゆるアクターとの連携を構築し、発展さ せていることとその有効性を理解する ●国際協力でのキャリア形成を知る |
| 15:50-16:00 | 事務連絡 | GLMi | | |

2日目 : 2026年8月25日 (火)

対面開催 (オンライン出席可)

| 場所 | 時間 | テーマ | 講師等 | ねらい |
|-------------|-------------|---------------------------------|--------------------------|--|
| JICA筑波 | 10:00-10:30 | 前日の振り返り・シェアリング | GLMi | 獲得した知識などを整理し、新たな学びに備える |
| | 10:30-11:20 | JICA×市民の取り組み | JICA筑波 | <ul style="list-style-type: none"> ●JICA海外協力隊事業の目的・応募方法、選考から帰 国後までの流れ等を知る ●JICAのNGOや地方自治体、大学等への活動支援や草 の根技術協力事業の目的・特徴等を知る ●国際協力への理解の促進の取り組みを知る |
| | 11:20-11:30 | 休憩 | | |
| | 11:30-12:30 | JICA海外協力隊経験者との対話と交流 | 元JICA海外協力隊員 | <ul style="list-style-type: none"> ●JICA海外協力隊の活動や得られる経験を知る ●帰国後の進路や可能性を知る |
| | 12:30-13:30 | 昼休憩 | | |
| | 13:30-15:00 | NGOの現場から学ぶ課題解決のアプローチ | 草の根技術協力事業の実 施経験のあるNGO | 特定のNGOのプロジェクトが何を目指し、どのような アプローチで課題を解決し、日々どのような仕事をして いるのかを知る |
| | 15:00-15:10 | 休憩 | | |
| | 15:10-15:40 | JICA×民間企業の取り組み | JICA筑波 | <ul style="list-style-type: none"> ●JICA民間連携事業の目的・特徴等を知る ●企業との共創を通じた課題解決の可能性を知る |
| | 15:40-16:40 | 民間連携事業の事例から学ぶ「Win-Win」の関 係構築 | 民間連携事業の実施経験 のある企業 | 特定の民間連携事業が何を旨し、どのように製品・ サービスを活用し、日々どのような仕事をしているの かを知る |
| 16:40-16:50 | 事務連絡 | GLMi | | |

| 場所 | 時間 | テーマ | 講師等 | ねらい |
|--------|-------------|---------------------------------|-----------|--|
| JICA筑波 | 10:00-10:30 | 前日の振り返り・シェアリング | GLMi | 獲得した知識などを整理し、新たな学びに備える |
| | 10:30-11:30 | 「共創」のちからを育むJICAの本邦研修 | JICA筑波 | ●JICA本邦研修の概要を知る ●特定の研修コースが何を指し、どのような活動を行い、どのような内容を学んでいるのかを知る |
| | 11:30-11:40 | 休憩 | | |
| | 11:40-12:30 | JICAつくば地球ひろば「世界の食と農」・研修コース・圃場見学 | JICA筑波 | ●体験型展示・JICAつくば地球ひろばを見学し、JICAや国際協力について学ぶ ●研修員の日本で学ぶ様子を知る |
| | 12:30-14:00 | 途上国から学びに来ている研修員とのランチ交流会 | JICA研修員 | ●研修員の出身国や本人の業務・研究について知る ●研修員と意見を交換する・交流する |
| | 14:00-15:30 | 開発コンサルタントの仕事 | 開発コンサルタント | ●特定のJICAプロジェクトが何を指し、どのようなアプローチで課題を解決し、日々どのような仕事をしているのかを知る ●プロジェクトでのJICAとの協働について知る |
| | 15:30-15:40 | 事務連絡 | GLMi | |

| 場所 | 時間 | テーマ | 講師等 | ねらい |
|--------|-------------|---|--------------------------|--|
| JICA筑波 | 09:30-10:00 | グループアイスブレイク・前日の振り返り ※バスの時間との兼ね合いで、揃い次第開始 | GLMi | ●参加者がさらに互いの背景や関心を把握する ●獲得した知識などを整理し、新たな学びに備える |
| | 10:00-13:00 | PCM（プロジェクト・サイクル・マネジメント）「計画・立案」体験研修① | 開発コンサルタント （前日とは異なる講師） | ●PCMに対する理解を確保する ●PDM全体の読み方とPOの重要性を理解する ●問題分析の手順・留意点を理解する ●目的分析の手順・留意点を理解する ※PCM手法の要点を体験的に学びます（以下同） |
| | 13:00-14:00 | 昼休憩 | | |
| | 14:00-17:00 | PCM「計画・立案」体験研修② | 同上 | ●プロジェクト選択の手順・留意点を理解する ●PDM要約・投入の手順・留意点を理解する |
| | 17:00-17:10 | 事務連絡 | GLMi | |

| 場所 | 時間 | テーマ | 講師等 | ねらい |
|--------|-------------|--|-----------------------------------|---|
| JICA筑波 | 09:30-10:00 | 前日の振り返り・シェアリング ※バスの時間との兼ね合いで、揃い次第開始 | GLMi | 獲得した知識などを整理し、新たな学びに備える |
| | 10:00-12:00 | プロジェクト案の発表・フィードバック （作成したプロジェクトのロジックモデル） | 開発コンサルタント | ●計画立案での重要な視点や考え方を理解する ●立案したプロジェクトの良い点や課題を知る |
| | 12:00-13:00 | 昼休憩 | | |
| | 13:00-15:00 | 未来を描くキャリア相談会 | JICA職員・専門員、国際農研研究員、開発コンサルタント、NGO等 | ●国際協力分野の仕事の種類や必要な能力・経験・スキル、キャリアパスの例等を知る ●キャリアについて相談する機会を得る |
| | 15:00-15:20 | 休憩 | | |
| | 15:20-16:40 | 最終の振り返り・シェアリング （学びと将来像） | GLMi | 講座で得た学びと将来に向けた意識を他の参加者と共有し、今後に向けてのモチベーションとヒントを得る ●講座全体を通じて、どのような学びを得たか ●講座での経験をどのように活用しようと考えているか ●将来、自分自身はどのようにありたいか |
| | 16:40-17:00 | 閉会の言葉 事務連絡・アンケート回答 | JICA筑波 GLMi | |

3. 留意事項

- ・国際協力に関する基礎的な知識を得ると共に、国際協力の実務について学べる内容です。
- ・ディスカッション、ワークショップなど参加型のセッションでは、積極的に参加する姿勢を求めます。
- ・構成の順番や詳細、テーマ名、講師などは上記から変更になる可能性があります。
- ・原則、全日程の出席が必要となります。
- ・発熱、咳、咽頭痛、息苦しさ、味覚・嗅覚異常などの症状がある、体調がすぐれない、強い疲労感や倦怠感がある場合は、参加をご遠慮ください。
- ・対面参加の日は、終了後に参加者間などで交流することも可能ですので、公共交通機関の状況も踏まえて、時間の余裕を確保してください。

4. 学生さんへ一言

将来、国際協力に関わりたい、グローバルな環境で仕事がしたい、社会に貢献できるキャリアを重視したいなど、積極的な学生の参加を歓迎します。授業で学ぶ国際協力以外にも現場レベルでの国際協力の取り組みについて学びたいと考える人にお勧めです。